

令和3年度 俳句部門入選作品一覧

☆最優秀賞 1句

「龍リュウがごとく火ヒまいのぼるヤどんど焼き」

櫻岡 明義 (稲付自治会)

最優秀作品の情景等

「どんど焼き」とは、左義長のことで、小正月に神社の境内で松飾や注連飾などを燃やすことで、新年の季語になっています。

この左義長の火は神聖な火と言われていますが、その火が龍のように高々と舞い上がっていった景を描写しております。そこに無病息災を願う心も表れているのではないのでしょうか。

(公益社団法人) 俳人協会評議員 朝日カルチャーセンター講師
石 畠 岳

◎優秀賞 5句 順不同

「拍子木ヒョウシギや悴カジカむ指ユビに火ヒの明アかり」

大竹 美智子 (東十条一丁目町会)

「独活ウドの皮カワごみダに出キンピラさずに金平キンピラに」

喜多村 江子 (中十条二丁目町会)

「黄水仙キズイセンチリ塵アスカヤマひとつなアスカヤマき飛鳥山アスカヤマ」

岡崎 修 (公団王子五丁目団地自治会)

「ごみス捨てミアて見ソラ上げた空ハナミズキに花水木ハナミズキ」

原田 佳代子 (堀船一丁目町会)

「水温ミズヌルみ緑ミドリをコウジョウまとうごみ工場コウジョウ」

八木 晴江 (中十条三丁目町会)

○佳 作 5句 順不同

「かビがり火メイジや明ジ治ウ神宮オオ大ミ晦ソカ日ソカ」

町田 延子 (東十条五丁目町会)

「うららかや缶^{カン}・ビン^ワ分ける金^{キン}の音^{オト}」

若林 ふさ子 (公団王子五丁目団地自治会)

「掃き^ハ清め^{キヨ}ゴミ^{シユウセキ}集積所^{ジヨミズ}水を^ウ打つ」

鈴木 勸 (岸町二丁目町会)

「石神井^{シヤクジイ}川^{ガワ}水^{ミズ}清く^{キヨ}して赤^{アカ}とんぼ」

八木 圀彦 (中十条三丁目町会)

「ゴミ^{ヤマ}の山^{トンボ}がとまる^{スイヨウ}水^{ウビ}曜日」

宇佐見 欽一 (堀船一丁目町会)

作品を他で使用しないでください